

=====
RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE
2020.07.28
=====

4連休も終わり、春学期末試験期間もあと少しですね。

Some people feel the rain. Others just get wet.

—雨を感じられる人間もいるし、ただ濡れるだけのやつらもいる—

これは、レゲエの神様、Bob Marley の言葉です。

「物事のとらえ方を少し変えてみると、意外にも嬉しいことだったり、新しい発見があったりする」

人にはいろいろなとらえ方があり、それも自分の心の状況によって一様ではありません。ですが、同じ「雨」でも楽しむ心の余裕をもっていたいなど、ふと思うのです。

今、コロナウィルス感染拡大の影響で、自由に行きたいところに出かけられない、会いたい人に会えない、そんな閉塞的で憂鬱な気持ちが募っている人もいるかもしれません。なかなかこの状況を「楽しむ」と簡単にはいきませんが、心の持ちようを少しシフトチェンジして、自分のチャレンジしてみたかったことに取り組んだり、本や映画で心を満たしてみてもどうでしょうか。

立教大学ボランティアセンターでは、夏休み期間中に「OnlineVoluCafe」を企画しています。小人数で気軽に参加でき、自由に話し合うことができますますので、ぜひお申し込みください。（詳細は以下に記載）



CONTENTS

- (1) ボランティアセンターからのお知らせ
- (2) Online Volu-Cafe 開催のお知らせ
- (3) ことば・バトン～先輩から新入生・在校生のみなさんへ～
- (4) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

=====
(1)ボランティアセンターからのお知らせ
=====

【夏のボランティア活動について】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在ボランティアの紹介・広報活動を中止しております。

個人でボランティア活動に参加する場合は、いま行なうことが本当に必要かどうかを慎重に検討し、自己責任の上行動してください。その上で活動をする場合も、活動先が各自治体等で示している活動再開指針を遵守しているかどうかを必ず確認した上で参加するようにしてください。

首都圏の感染者が多数いる地域から人が行くことが持つ危険性について、十分に考えた上で慎重に判断してください。

以上について、不明な点や活動についての相談があれば、遠慮なくボランティアセンターまでお問い合わせください。

メール：volunteer@rikkyo.ac.jp 電話：03-3985-4651

【ボランティアセンター夏季休業期間中の閉室のお知らせ】

夏季休業期間中は8/8～8/19は一斉休暇、毎週土曜日にも閉室となりますので、ご注意ください。

(2) Online Volu-Cafe 開催のお知らせ

大学に入学したけれど、なかなか人と繋がれない・・・この4年間勉強以外何をしたらいいのかわからない・・・大学の中でどうやって友だちを作ればいいのか・・・

そんな想いを抱えているみなさんへ。

立教大学には、大学の枠を飛び越えて、自分探しをして積極的に社会と関わり活動をしている学生がたくさんいます。

Online Volu-Café では毎回ゲストの学生2名に、「人と繋がること」「自分が大切にしていること」「大学生活で何ができるか」などをテーマに話してもらいます。

事前申込制、定員は10名で、zoomを利用して座談会形式で行いますので、ゲストの学生へ自由に質問することができます。詳細は7月30日(木)以降の「立教時間」をご確認ください。

《Online-Volu-Café 第1回》

2020年8月7日(金) 12:30～13:15

ゲスト：コミュニティ福祉学部3年生

(学習支援ボランティア、高島農業体験、RSL南魚沼参加)

観光学部4年生(高島農業体験、RSL南魚沼参加)

先着10名、事前申込制(申し込み締め切り8/5(水)17時)、参加者にURLとPWを通知します。

Online ポラカフェ

第1回

何か**一歩**踏み出したい。大学生活を**充実**させたい。
立教生と**繋がり**たい。

そんなあなたの**"きっかけ"**に・・・

様々な
経験から
感じた事

飲み・
食事

Guest
・観光学部 4年生
・コミュニティ福祉学部 3年生
(学業支援・職業体験などに参加した先輩です！)

人との繋がりが
から学んだこと

先輩から大学生生活の話が聞けます！質問も可能！

日時 8/7(金) 12:30～13:15

ZOOM 双方向・座談会形式

参加
方法
立教時間からお申し込みください
締め切り8/5(水)17時
定員10名 ※先着順

(参加者には前日にメールをお送りします)

主催：立教大学ボランティアセンター ☎volunteer@rikkyo.ac.jp

(3) ことば・バトン ～先輩から新入生・在校生のみなさんへ～

前号に引き続きコミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科4年生の高山賢太郎君の
コラムです。

今回は新入生の皆さんに「伝えたいこと」を書いてもらいました。

高山賢太郎【熊本県出身/コミュニティ政策学科】

熊本県出身。高3時の熊本地震の経験を胸に、週6日の体育会活動と並行して現地
避難所での交流活動・各地での「伝える支援」としての講話等を実施。大学2年時、
ポール・ラッシュ博士記念奨学金を受賞し、地元熊本で被災した小学生を対象にサツ
カー教室・食事交流会を主催した。

その後、学部長賞を受賞。昨年は池袋・新座各キャンパスや熊本県内中学校で、自
身の活動を伝える機会もあり、今年度、校友会奨学金を受賞。

【伝えたい事】

「一歩を踏み出す勇気を持ち、動くこと。そして続けること。」これが一番大切だ
なと感じています。

特に、大学1年の最初の頃は、外の日線や損得感情など、先の色々なリスクを考え
ることもありました。しかし、実際行動してみると、そんなものは一切無意味だと気
付かされました。

またその中で、「日常」が非常に大切になることを実感しました。日頃から意識し
ているのは「本当にその行動でいいの？本当にかっこいい？」といった、自分への問
いかけです。

例えば、「遅刻しない。しっかり挨拶をし、人に感謝を伝える。どんな時でも、誰にでも同じ目線で向き合う。」などは当たり前のようなのですが、意外と難しいと思っています。かなり大切にしています。

そういう人こそ、人の上に立つ資格があると思いますし、自分についていきたいと思えるのでそこはブラさず、そういう人間を目指していきたいと思います。

「でも！！！！」オンオフのギャップを持ち、はっちゃける時は一番ハツチャケます。(笑)

こういう積み重ねが信頼関係に繋がると思いますし、「この人になら話を振りたい。任せてみたい。」といったところに繋がるような気がします。

サッカー教室も、多くの方のご協力があり、主催できました。

「自分を律すること/人を大切にすること」で、人とのご縁や繋がりが広がっていくようにも思います。

日々、大学生生活の様々な場面で感謝の心を持ち行動し続ければ、教養の幅や視野が、これまでより広がること、そして何より、動いてこそ得られる充実感や人との出会い・素晴らしい機会が多くあることも実感しました。実際、皆さんも気にかけているであろう就職活動で出会った方々は、そのような行動力やチャレンジ精神、人間味に溢れる方が多かったようにも思います。

だからこそ、時間という限られたものを常にデザインし、今自分は何ができるのか、どうやって自己成長させていくかを考え、行動していく姿勢をこれからも大切にしていきたいと思っています！



(4) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

みなさん、こんにちは！陸前高田サテライト事務局です。

立教大学では 2011 年の東日本大震災以降、岩手県陸前高田市を中心に東北各地で復興支援活動や交流活動を継続しています。現在は、陸前高田市ご協力のもと、岩手大学の方々と共に同市の地域課題解決に貢献できるようなプログラムにも取り組んでいます。陸前高田市と立教大学の歩みを少しずつ振り返りながら、学生の皆さんが陸前高田を訪れることが出来るプログラムやスタッフによる耳ヨリ情報を掲載していきます！

★立教大学と陸前高田～R の物語 vol.9 立教バレーボール教室@陸前高田の歩み

2013 年 8 月、立教大学では体育会バレーボール部・女子バレーボール部に協力していただき、陸前高田市の小学生バレーボールチームを対象としたバレーボール教室を開始しました。陸前高田市はバレーボールが盛んな地域で、各世代で全国大会出場経験があります。このような地域ならではの取り組みをしたい、と開始したのがこの教室です。初年度は市内 5 チーム 62 名の小学生が大学生 30 名を迎えてくれました。

バレー部では、この教室の運営を中心的に担っていくチームを学年混合で作り、この教室を次世代に繋いでいけるような工夫をするとともに、教室に参加してくれる子ども達がどうすれば楽しんでくれるのかを考え、アイデアを出し合いながら準備を進めています。また、当初の参加チームは市内だけでしたが、お隣の大船渡市と住田町のチームも集まってくれるようになりました。あるときには、関係者の方々、保護者の方々がサプライズで教室後に流しそうめんを振る舞ってくださり、子どもも学生も一緒になって箸を伸ばしました。

教室に参加し続けたある学生は、出会ったばかりの頃はなかなか声も出せず、プレーにも自信がなさそうだった子が、3 年後、チームのキャプテンを務めているのを見て感動し、親のような気持ちになったといいます。また、その学生自身もキャプテンになると子どもから「キャプテンになったんだね！すごいじゃん」と言われ、自分のことを覚えてくれている子ども達がいることがとても嬉しかったそうです。年に 1 回の教室ですが、学生と子ども達が出会い、お互いの成長を感じられる機会にもなっています。





*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 rrs@rikkyo.ac.jp
*陸前高田サテライトの取り組みを発信中
公式 Instagram (@rikkyo_rrs) https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/

(編集：ボランティアコーディネーター／茅)

立教大学ボランティアセンター

◎池袋キャンパス

場所：5号館1階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

◎新座キャンパス

場所：7号館2階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

※新型コロナウイルス感染拡大のため6月1日以降は短縮開室しております。

月～金 10:30～15:30、土曜日 10:30～12:30

但し、両キャンパスとも原則として入構制限となっています。

また、夏季休業中は8/8～8/19は一斉休暇、毎週土曜日も閉室となります

◎ホームページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

◎メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

◎Facebook

https://www.facebook.com/立教大学ボランティアセンター-537537806439867/?ref=aymt_homepage_panel

©TwitterID : @rikkyo_volucen

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

©Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94Je1nJwm7>

(C)2019 RVC all rights reserved.
